

ビジネスイーサ ワイド

サービス開始年月日	2008年3月31日		
サービスの概要	デュアルアクセスやイーサOAM技術(監視用フレームによる疎通確認)などの採用により、さらなる信頼性向上を実現しているNGN広域イーサネットサービスです。複数の県にまたがったシームレスな広域ネットワークを構築できるとともに、他の協定事業者のネットワークと接続することにより、全国エリアでのネットワーク構築も可能です。豊富なオプションメニューを備えた、あらゆるビジネスシーンでご利用可能なネットワークサービスです。		
	お客さまの要望・お困りごと	ビジネスイーサ ワイドでの解決方法	詳細
	複数の県をまたぐネットワークを構築したい	●県間接続	P.481 へ
	ネットワークの信頼性と安定性をさらに高めたい	●イーサOAM技術による故障監視・通知 ●デュアルアクセス ●SLA(サービス品質保証制度)	P.482~ 484へ
	BCP(事業継続計画)対策としてネットワークの信頼性を向上させたい	●レポーティングサービス(オプションサービス)	P.484~ 485へ
	ネットワークのトラフィック状況を適宜確認したい	●レポーティングサービス(オプションサービス)	P.484~ 485へ
	トラフィック状況を把握し、適宜、帯域の見直しを実施したい	●QoS制御機能(オプションサービス)	P.485 へ
	重要なデータを優先的に転送したい	●QoS制御機能(オプションサービス)	P.485 へ
	複数のアプリケーションを同一ネットワーク上で利用したい	●サブグループ設定機能(オプションサービス)	P.486 へ
	複数のネットワークを1つのネットワークに統合したい	●サブグループ設定機能(オプションサービス)	P.486 へ
	1つのネットワークを、複数のグループに分割し、かつ各グループごとのセキュリティを確保したい	●サブグループ設定機能(オプションサービス)	P.486 へ

●県間接続

○特長

- ・複数の県にまたがったシームレスな広域ネットワークを実現可能
- ・協定事業者のネットワークと接続することにより、全国エリアでのネットワーク構築も可能*1
- ・お客さまの構成に合わせて「県間中継回線」と「ゾーン内中継回線」のいずれかの選択ができることにより、最適な料金での運用が可能*2

*1 NTT東日本の営業エリア、NTT西日本の営業エリアをまたがってのご利用には、別途、協定事業者(NTT西日本など)回線の契約が必要です。

*2 各ゾーンは以下の都県を指します。

東北ゾーン:青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島

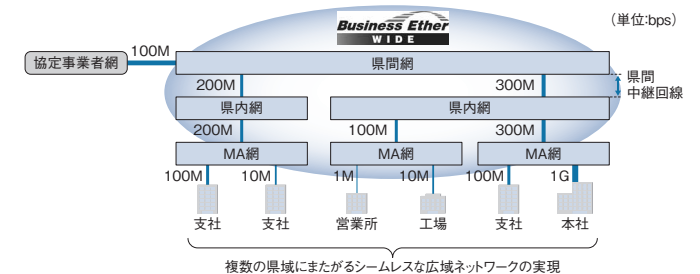
関東甲信越ゾーン:新潟、長野、山梨、群馬、栃木、茨城、埼玉、東京、千葉、神奈川

・同一通信グループにおいて「ゾーン内中継回線」と「県間中継回線」の併用はできません。

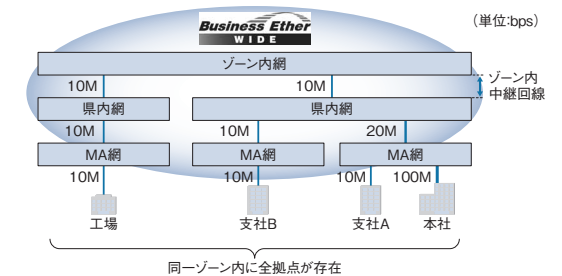
また、「ゾーン内中継回線」をご利用の場合は、協定事業者網との接続はできません。

・「ゾーン内中継回線」⇔「県間中継回線」の変更は、通信断を伴う工事が発生します。将来、ゾーンをまたぐ拠点追加が見込まれる場合は、「県間中継回線」のご選択を推奨します。

<県間中継回線を利用したネットワーク構成例>



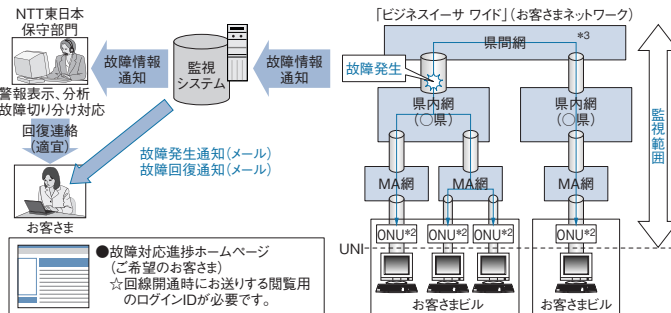
<ゾーン内中継回線を利用したネットワーク構成例>



●イーサOAM技術による故障監視・通知

○特長

- ・回線ごとの状態を常時監視
- ・故障検知時には、あらかじめお客さまが指定した故障連絡先へ、メールにて故障発生を通知*1
- ・並行してNTT東日本保守部門にて、故障発生状況確認、故障区間切り分けなどの対応を実施することから、迅速な復旧が可能



*1 故障通知先としてご指定いただくメールアドレスは、「ビジネスイーサワイド」回線に故障が発生した場合でもご利用可能なメールアドレスをご指定ください。

*2 ONU：回線終端装置

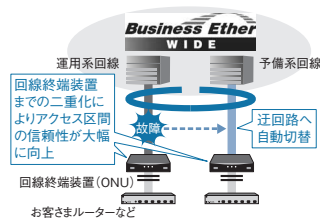
*3 同一ゾーン内に拠点がある場合、お客さまの構成に合わせて「県内中継回線」と「ゾーン内中継回線」のいずれかを選択することが可能。ただし、協定事業者網との接続、ゾーンを越えたエリアとの接続の場合は「県間中継回線」の選択となります。

※監視にあたって、ご契約帯域の一部を利用します。

●デュアルアクセス

○特長

- ・中継区間の冗長化(二重化)に加えて、アクセス区間についても冗長化が可能(1Mbps、10Mbps、100Mbps、1Gbpsの全品目でご利用可能)
- ・故障発生時には予備系回線への自動切替をネットワーク側で行うことにより、高度な信頼性・安定性を実現しており、BCP(事業継続計画)対策としても、ネットワークのより高度な信頼性を実現しており冗長化のために従来必要としていたアクセス回線2回線分の費用負担を軽減
- ・回線終端装置が1台または2台の構成を選択可能



※予備系回線は通常時利用できません。運用系回線故障時に利用可能になります。なお、運用系の故障が回復した場合、切り戻しは行いません。

●SLA(サービス品質保証制度)

「故障回復時間」「遅延時間」「稼働率」の3つの項目について、高い水準のSLAを設定しております。

また、「ビジネスイーサワイド」では、デュアルアクセス品目において10分未満の故障回復時間SLAを設定。高いサービス品質を実現しています。

○故障回復時間SLA

- ・お客さまの責任によらない理由(地震や風水害などの天災を含みます)によってネットワークサービスがまったく利用できない状態となり、所定の時間内にその故障が回復しない場合、故障回復時間に応じて、「ビジネスイーサワイド」の返還対象料金*に対する一定率の料金を返還いたします。
- ・故障回復時間SLAの適用にあたり、新たな申し込みや追加料金は不要です。

※SLAによる料金返還の上限は対象サービスの月額利用料1か月分です。

*返還対象料金：以下の料金のうち、NTT東日本が確認した故障区間(契約区間)の対象箇所・対象時間に応じて返還対象料金を算出します。

中継設備利用料、アクセス回線利用料、県内中継回線利用料、ゾーン内中継回線利用料、県間中継回線利用料、事業者間中継回線利用料、回線終端装置利用料、オプションサービス利用料

対象品目：デュアルアクセス品目

※中継回線は含まれません。

故障回復時間	返還する料金
10分以上1時間未満	返還対象料金(月額)の30%
1時間以上2時間未満	返還対象料金(月額)の40%
2時間以上4時間未満	返還対象料金(月額)の50%
4時間以上6時間未満	返還対象料金(月額)の60%
6時間以上8時間未満	返還対象料金(月額)の70%
8時間以上48時間未満	返還対象料金(月額)の80%
48時間以上	返還対象料金(月額)の全額

対象品目：デュアルアクセス品目以外

故障回復時間	返還する料金
30分以上1時間未満	返還対象料金(月額)の3%
1時間以上2時間未満	返還対象料金(月額)の10%
2時間以上4時間未満	返還対象料金(月額)の20%
4時間以上6時間未満	返還対象料金(月額)の30%
6時間以上8時間未満	返還対象料金(月額)の40%
8時間以上48時間未満	返還対象料金(月額)の50%
48時間以上	返還対象料金(月額)の全額

○遅延時間SLA

- ・遅延時間*1の月間平均値がNTT東日本が規定する基準値(県内10ミリ秒以内、県間35ミリ秒以内)を超えた場合、対象サービスをご契約いただいているすべてのお客さまに対して、県内の場合は返還対象料金(月額)*2の3%、県間の場合は10%の料金を返還いたします。

・遅延時間SLAの適用にあたり、新たな申し込みや追加料金は不要です。

*1 遅延時間：NTT東日本が指定する収容局装置間におけるイーサネットフレームの往復に要する時間

***2 返還対象料金**

中継設備利用料、アクセス回線利用料、県内中継回線利用料、ゾーン内中継回線利用料、県間中継回線利用料、事業者間中継回線利用料

○稼働率SLA

・お客さまの責任によらない理由(地震や風水害などの天災を含みます)によって、まったく利用できない状態または同程度の状態が発生し、月間稼働率(99.99%)を基準としたサービス品質を維持できなかった場合に、月間稼働率に応じて、「ビジネスイーサ ワイド」の返還対象料金(月額)^{*3}に対する一定率の料金を返還いたします。

・稼働率SLAの適用にあたり、新たな申し込みや追加料金は不要です。

***3 返還対象料金**

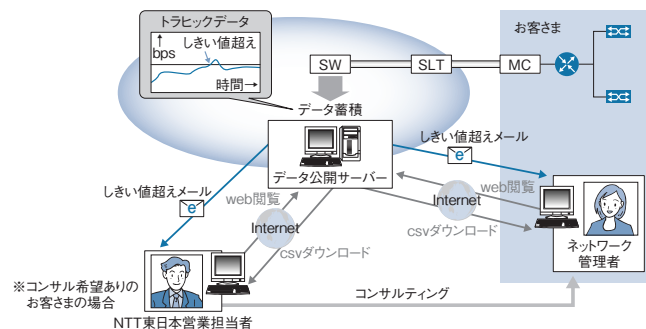
中継設備利用料、アクセス回線利用料、県内中継回線利用料、ゾーン内中継回線利用料、県間中継回線利用料、事業者間中継回線利用料

稼働率	返還料金
99.8%以上～99.99%未満	返還対象料金(月額)の1%
98.0%以上～99.8%未満	返還対象料金(月額)の3%
95.0%以上～98.0%未満	返還対象料金(月額)の10%
90.0%以上～95.0%未満	返還対象料金(月額)の20%
90.0%未満	返還対象料金(月額)の全額

●レポーティングサービス (オプションサービス)

○特長

- ・契約回線のトラフィック変動状況を測定し、Webで閲覧(グラフ形式)する機能と測定データをダウンロード(CSV形式)できる機能で、トラフィック状況を適宜モニタリングが可能
- ・お客さまがしきい値を設定することで、設定条件に測定データ(トラフィック量)が合致した場合には、お客さまへメール通知することも可能



※コンサル希望ありのお客さまの場合

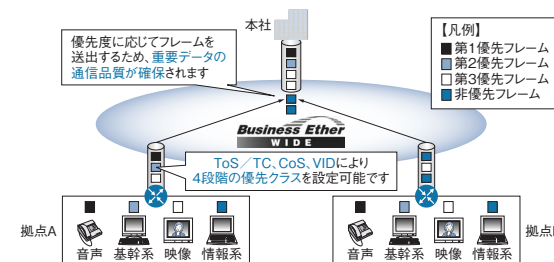
NTT東日本営業担当者

項目	内容	
測定単位	アクセス回線 ・デュアルアクセス、シングルアクセス 中継回線 ・県内中継回線 ・ゾーン内中継回線 ・県間中継回線 ・事業者間中継回線 ※サブグループ設定がある場合はサブグループ単位で測定 ※QoS設定がある場合は優先クラス単位で測定(アクセス回線のみ)	
測定項目	送受信データ量	
測定間隔	5分間に1回	
測定単位	送受信データ量…bps (1秒間の平均bit数)	
最小単位	整数 (小数点以下第1位を四捨五入)	
計算方法	送受信データ量の1秒間平均bit数	
データ公開	方法	グラフ形式でWebによる公開
	期間/プロット単位	日報: 30日分/5分平均 週報: 4週間分/30分平均 月報: 12カ月分/2時間平均 年報: 3年間分/1日平均
印刷	Web画面の印刷	
ダウンロード	方法	CSV形式
	対象	日報データ (5分単位)
	保存期間	40日
公開時間	24時間365日	
しきい値超過通知	通知方法	メールによる通知 (自動)
	条件	通知を希望するお客さまは、下記通知条件が設定可能 一定時間 x 内にしきい値 y を z 回超えた場合 ※初期状態は通知しない設定

●QoS制御機能 (オプションサービス)

○特長

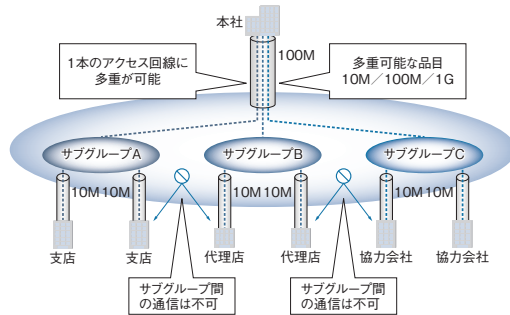
- ・契約帯域を超えたトラフィックが流れた場合、お客さまが指定した優先順位に従って、優先度の高いフレームを転送することにより、基幹系と情報系ネットワークの統合や、音声、映像データなど複数のアプリケーションを同一ネットワークで利用したいお客さまに最適なネットワーク環境を提供
 - ・優先制御識別子は、ToS (IPv4) / TC (IPv6)、CoS、VIDを選択可能なため、「IPv6」対応のアプリケーションを優先制御したいお客さまにも有効
- ※ご利用可能な識別子を付与可能な機器が必要となります。



●サブグループ設定機能（オプションサービス）

○特長

- ・同一通信グループ内でご利用目的ごとに複数のサブグループに分割し、グループ単位でのセキュリティ確保が可能
- ・1本のアクセス回線に複数のサブグループを多重可能



●フィルタリング設定機能（オプションサービス）

○特長

アクセス回線において転送可能なフレームをVLAN-IDの値によって制限する機能です*。

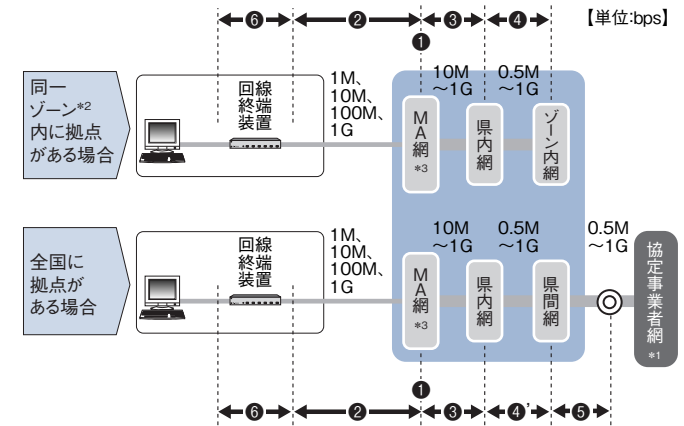
同一通信グループ内で拠点間のアプリケーションごと、事業部ごとのセキュリティを確保することができます。

*特定VLAN-IDで網内に入ることが可能な拠点をセンター拠点と1つのエンド拠点のみに限定し、フレームの送信元を特定します。

※サブグループ設定機能との併用はできません。

料 金

1. 月額利用料



$$\begin{aligned} \text{月額利用料} = & \text{①中継設備利用料} + \text{②アクセス回線利用料} + \text{③県内中継回線利用料} + \\ & \text{④ゾーン内中継回線利用料 または} + \text{⑤事業者間中継回線利用料} \\ & \text{⑥回線終端装置利用料} + \text{⑦その他オプションサービス利用料} \end{aligned}$$

・①、②、⑥は必須です。

・③、④、⑤、⑦、その他オプションサービス利用料はご利用内容に応じて必要となります。

*1 NTT東日本の営業エリア、NTT西日本の営業エリアをまたがってのご利用には、別途、協定事業者（NTT西日本など）の回線の契約が必要です。

*2 同一通信グループにおいて、すべての拠点が同一ゾーン内である場合、「ゾーン内中継回線」と「県間中継回線」のいずれかを選択することができます。各ゾーンは以下の都県を指します。

東北ゾーン：青森、秋田、岩手、山形、宮城、福島

関東甲信越ゾーン：新潟、長野、山梨、群馬、栃木、茨城、埼玉、東京、千葉、神奈川

・同一通信グループにおいて「ゾーン内中継回線」と「県間中継回線」の併用はできません。また、「ゾーン内中継回線」をご利用の場合は、協定事業者網との接続はできません。

・「ゾーン内中継回線」⇔「県間中継回線」の変更は、通信断を伴う工事が発生します。将来、ゾーンをまたぐ拠点追加が見込まれる場合は、「県間中継回線」のご選択を推奨します。

*3 MA (Message Area) とは、NTT東日本が指定する単位料金区域です。単位料金区域に含まれる具体的な市町村名については、NTT東日本営業担当者までお問い合わせください。

※本サービスには基本契約期間が1年間あります。1年以内の解約または変更（「県間中継回線」⇔「ゾーン内中継回線」への変更など）によりご利用料に減少が生じた場合には、残余期間のご利用料を一括してお支払いいただきます。

①中継設備利用料

110,000円（税込）

※MA（単位料金区域）ごとに通信グループ単位でアクセス回線の合計帯域が1Gbpsまでごとに必要となります。

② アクセス回線利用料 (1アクセス回線ごと) (税込)

速度	回線種別	金額
1Mbps	シングルアクセス	16,500円
	デュアルアクセス	33,000円
10Mbps	シングルアクセス	25,300円
	デュアルアクセス	41,800円
100Mbps	シングルアクセス	44,000円
	デュアルアクセス	66,000円
1Gbps	シングルアクセス	236,500円
	デュアルアクセス	275,000円

③ 県内中継回線利用料 (MAごと通信グループごと) (税込)

速度	金額	速度	金額
10Mbps	88,000円	600Mbps	792,000円
100Mbps	132,000円	700Mbps	924,000円
200Mbps	264,000円	800Mbps	1,056,000円
300Mbps	396,000円	900Mbps	1,188,000円
400Mbps	528,000円	1Gbps	1,320,000円
500Mbps	660,000円		

④ ゾーン内中継回線利用料 (県などごと通信グループごと) (税込)

速度	金額	速度	金額
0.5Mbps	19,800円	60Mbps	121,000円
1Mbps	30,800円	70Mbps	132,000円
2Mbps	34,100円	80Mbps	154,000円
3Mbps	35,200円	90Mbps	176,000円
4Mbps	36,300円	100Mbps	198,000円
5Mbps	37,400円	200Mbps	220,000円
6Mbps	39,600円	300Mbps	330,000円
7Mbps	40,700円	400Mbps	440,000円
8Mbps	41,800円	500Mbps	550,000円
9Mbps	42,900円	600Mbps	660,000円
10Mbps	44,000円	700Mbps	770,000円
20Mbps	77,000円	800Mbps	880,000円
30Mbps	88,000円	900Mbps	990,000円
40Mbps	99,000円	1Gbps	1,100,000円
50Mbps	110,000円		

④ 県間中継回線利用料 (県などごと通信グループごと) (税込)

速度	金額	速度	金額
0.5Mbps	24,200円	60Mbps	572,000円
1Mbps	33,000円	70Mbps	594,000円

2Mbps	46,200円	80Mbps	616,000円
3Mbps	51,700円	90Mbps	638,000円
4Mbps	57,200円	100Mbps	660,000円
5Mbps	62,700円	200Mbps	990,000円
6Mbps	69,300円	300Mbps	1,430,000円
7Mbps	75,900円	400Mbps	1,870,000円
8Mbps	83,600円	500Mbps	2,310,000円
9Mbps	88,000円	600Mbps	2,398,000円
10Mbps	132,000円	700Mbps	2,486,000円
20Mbps	220,000円	800Mbps	2,574,000円
30Mbps	330,000円	900Mbps	2,662,000円
40Mbps	440,000円	1Gbps	2,750,000円
50Mbps	550,000円		

⑤ 事業者間中継回線利用料 (通信グループごと) (税込)

速度	金額	速度	金額
0.5Mbps	22,000円	60Mbps	462,000円
1Mbps	27,500円	70Mbps	484,000円
2Mbps	33,000円	80Mbps	506,000円
3Mbps	38,500円	90Mbps	528,000円
4Mbps	44,000円	100Mbps	550,000円
5Mbps	49,500円	200Mbps	660,000円
6Mbps	50,600円	300Mbps	770,000円
7Mbps	51,700円	400Mbps	880,000円
8Mbps	52,800円	500Mbps	990,000円
9Mbps	55,000円	600Mbps	1,012,000円
10Mbps	88,000円	700Mbps	1,034,000円
20Mbps	110,000円	800Mbps	1,056,000円
30Mbps	220,000円	900Mbps	1,078,000円
40Mbps	330,000円	1Gbps	1,100,000円
50Mbps	440,000円		

⑥ 回線終端装置利用料 (1契約者回線ごと) (税込)

速度	回線種別	金額
1Mbps	シングルアクセス	1,100円
	デュアルアクセス	2,200円
10Mbps	シングルアクセス	1,100円
	デュアルアクセス	2,200円
100Mbps	シングルアクセス	1,100円
	デュアルアクセス	2,200円
1Gbps	シングルアクセス	5,500円
	デュアルアクセス	11,000円

<オプションサービス>

(税込)

区分	単位	金額	備考
サブグループ 設定機能	基本グループ を除く1サブグ ループごと	1,100円/月	課金対象は(総サブグ ループ数-1) ^{*1}
QoS制御機能	1契約者回線 ごと	5,500円/月	
フィルタリング 設定機能	1契約者回線 ごと	2,200円/月	識別番号による通信許 容の場合のみ課金 ^{*2}
トラヒックレポート	通信グループ ごと	無料	アクセス回線ごと、中 継回線ごとに表示

*1 アクセス回線の1Mbps品目ではサブグループを多重することはできません。

*2 1アクセス回線につき1識別番号を付与

2. 初期費用

(税込)

区分	単位	金額
契約料	1契約者回線群ごと	880円
交換機等 工事費	①1アクセス回線ごと	シングルアクセス 1,100円 デュアルアクセス 2,200円
	②1中継回線ごと	1,100円
③回線終端装置工事費 (1契約者回線ごと)		シングル 23,760円 デュアル 47,520円
		4,950円
基本工事費 (1カ所の工事 ごと)	③の工事を伴う場合	1カ所あたりの工事費③の合計が 31,900円(税込)を超えることに 3,850円(税込)を加算
	①②の工事のみの場合	1,100円

※夜間帯 (17:00～翌朝8:30) および1月1日から1月3日、12月29日から12月31日の工事は別途増料金が必要となります。

※回線の敷設形態により、上記以外の工事が発生する場合がございます。

※代表的な工事の例であり、工事の内容によって工事費が異なる場合があります。詳しくはNTT東日本営業担当者へご相談ください。

※工事担当者が訪問する時刻を指定する場合は以下の工事費が追加で必要となります。

(税込)

区分	単位	金額
昼間帯 (9:00～16:00の正時)	1カ所の工事ごと	12,100円
夜間帯 (17:00～21:00の正時)		19,800円
深夜帯 (22:00～翌朝8:00の正時)		30,800円

※契約者回線の終端となる構内または建物内において配線ルート構築の工事を行う場合は以下の工事費が追加で必要となります。

(税込)

工事費種別	金額
開通工事と同日に実施	15,400円
開通工事と別日に実施	29,700円

○本サービスには基本契約期間が1年間あります。1年以内に解約または変更により利用料に減少が生じた場合には、残余期間の利用料を一括してお支払いいただきます。

提供条件等

提供エリア

NTT東日本エリア

※提供エリア内であっても、設備などの都合上、提供をお待ちいただいたり、提供できない場合があります。

●本サービスに係る詳細な提供条件などにつきましては、以下のURLをご参照ください。

<<https://business.ntt-east.co.jp/service/wide/>>